



私が見た 図書館

短期大学英语科
後藤朋子

京都外国語短期大学に入学して一年が過ぎました。この一年間を振り返ると、本当に自分の人生の中で大切な時間を本学で過ごすことが出来たことを感謝しています。

短期大学に入学し、初めて訪れたのはこの図書館でした。私は高校のころ、自慢ではないですが学校の図書館に一度も足を運んだことがありません。そんな私がこの大学の図書館に足をほぼ毎日のように運んだのは、勉強ができる有難みを痛感しているからです。私は高校を卒業後すぐに就職、二年間働いてこの短期大学に入学しました。大好きな英語と向き合ってみたい！その想いだけでこの短期大学の門をくぐったものの、やはりそんなに甘くはなく本当に挫折の毎日。その時、わらにも縋る思いで図書館の職員の方に私にも解る英語の本は無いかと尋ねた事を今でも覚えています。本当に親身になって相談に乗っていただき、今でもその出会いは私にとって大きなものであったと感謝しております。

この一年間一人の学生としてこの大学の図書館を利用し、又本に触れて解った事は、本当に多くのものがここにはあるということです。知識は勿論の事、それだけではなく多くのものがここにはあります。学生の時にしか出来ないことはたくさんあります。今だからしておきたい、したいこと、たくさんあると思います。その中の一つにこの“図書館”というものをに入れても決して損はしないし、無駄ではないと私は思います。このようなすばらしい環境を多くの方に知っていただき、利用して欲しい。そして今以上にすばらしい学生生活をより多くの方に送っていただきたいと心から願っています。



PAX
MUN
PER
LING

ご存じですか？

『就職試験・資格
試験データベース』



本学図書館は後援会より毎年100万円の図書購入に対する補助金をいただいています。図書館ではこの補助金の意義を尊重して大多数の学生の皆さんが利用されると思われる就職関係資料の購入に充当しています。そして第2閲覧室の就職関係図書コーナーに一昨年度の資料と入れ替えて毎年最新の資料を配架し、皆さんに利用していただいています。

今回ご紹介するのは本学図書館で作成しているデータベース『就職試験・資格試験データベース』です。このデータベースは後援会からの補助金で購入した図書を全て収録しており、前回ご紹介した『講義概要に示された参考文献』と同様で書名をクリックすると詳しい書誌情報と貸出情報が見

られる仕組みになっています。各タイトルはまず大きく「就職関係」と「資格関係」に分けられ、さらに「就職関係」では「就職一般」、「公務員試験」など5つのカテゴリーに、「資格関係」では「TOEIC」、「TOEFL」、「英検」など13のカテゴリーに分類されています。各カテゴリー間の移動もクリック一つで容易にできますので、非常にスムーズな検索を行うことができます。

このデータベースも本学図書館で設置している他のデータベース同様、学内はもちろん学外からのアクセスページを設けていますので、図書館に来られる前に自宅などから前もって資料を検索することができます。

『就職試験・資格試験データベース』は皆さんの就職活動や資格・認定試験に大変役立てていただけるものです。大いに活用して効率よく資料を収集していただけたら幸いです。

(機械化推進委員会委員長 宮杉 浩)